

令和6年度 小中一貫教育 に関するアンケート調査結果

(回答数 20件)

令和6年度11月9日開催

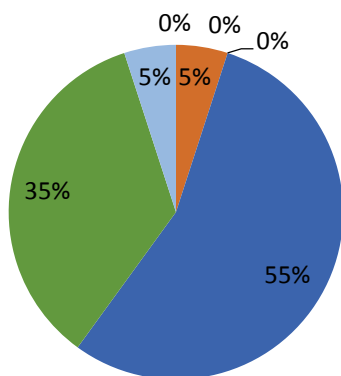
洞爺湖町教育委員会

1-1当てはまる区分を選んでください。

【回答者種類】

就学前保護者	0
小学校保護者	1
中学校保護者	0
児童生徒	0
教育関係者	11
その他の洞爺湖住民	7
その他	1

1-1当てはまる区分を選んでください。



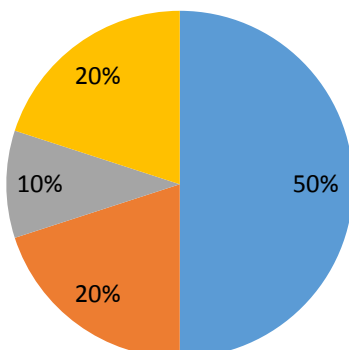
- 就学前保護者
- 小学校保護者
- 中学校保護者
- 児童生徒
- 教育関係者
- その他の洞爺湖住民
- その他

1-2当てはまる区分を選んでください。

【回答者居住地】

虻田地区	10
洞爺湖温泉地区(月浦・花和含む)	4
洞爺地区	2
その他	4

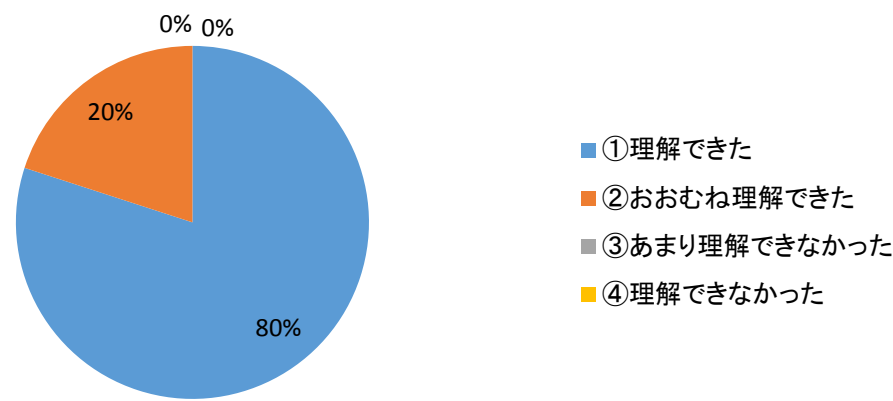
1-2当てはまる区分を選んでください。



- 虻田地区
- 洞爺湖温泉地区(月浦・花和含む)
- 洞爺地区
- その他

2 安平町早来学園の取組について理解できましたか。	
①理解できた	16
②おおむね理解できた	4
③あまり理解できなかった	0
④理解できなかった	0

安平町早来学園の取組について理解できましたか。



3 義務教育学校の内容や小中一貫教育についての質問や理解できなかった内容があればご回答ください。

・開かれた場ということだが、不審者対策等セキュリティ対策はしているのか。

・児童会、生徒会はどのような体制で行なっているのか聞きたいです。

・山田校長先生の取り組みの紹介で、運動会の徒競走の廃止、背の順の整列の廃止、宿題・家庭学習の廃止についての取り組みを紹介していただいたのですが、これらについては、どのように理解していただいたのか、またどんなことが否定的意見として上がり、説得したのかをお聞きしたいです。

また運動会の行事としての在り方をどのように変えたのか、紅白分けや競争という面をしないで、またカリキュラムとして行事の時数とはどうしたのかお聞きしたいです。

また最後に、PTA役員の廃止への保護者の理解、そして廃止することで、よりPTAの活動が活発になったのかどうかお聞きしたいです。"

・大変分かりやすい内容で感謝しています。全て参考になりました。

・義務教育学校と小中一貫校の違い

・小中一貫校と義務教育学校の違い、義務教育学校のメリット

・不登校の数値的变化、その要因なども可能であれば教えてもらいたかったです。

・義務教育学校のメリットを具体的な実践をご紹介いただき、大変説得力がありました。

・今回の内容も、より多くの方々に聞いていただきたいと思います。

4 洞爺湖町で目指す小中一貫教育や義務教育学校を導入する場合に、心配される点や期待される点があればご回答ください。

- ・小学校の統合も視野に入れて導入してほしい。
- ・やはり、建物が既存のままで行うのは目指すところと離れてしまう気がするので、離れた校舎で何ができるのか？具体的に分離型の一貫校のメリットを知りたいです。
- ・校舎の問題
 - ・小中一貫校を目指すのなら、やはり校舎は一つであるべきです。早来学園みたく新設は難しいと思いますが、既存の公共施設を活用して実現して下さい。それには教育委員会だけではなく、町長が積極的に方針を示すべきです。自分の公約なのですから。
 - ・幼稚園や保育所との連携（小1ギャップが心配）、小学校高学年のリーダーシップや達成感などを養う機会の確保
- ・現場努力と丸投げされている感じがして心配
 - ・早来学園開校前の小学校、中学校が一緒になっていた期間の大変さについて話されていたことが、洞爺湖町では数年続くということを考えると、思い当たる問題については、事前に解決しておかなければならない。もう動き出さないと、手遅れになるというか、始まってから、現場で混乱が長く続くことになると思う。
 - ・虻田地区と洞爺地区で目指す方向性や進捗度、課題が違うと思うので、画一的に進めるのではなく、柔軟に対応、検討をしてほしい
- ・一貫教育を進めていく今後の流れが見えると良い。
- ・行政審議会を受けてということになるだろうが、具体的には誰が、何をどのようなスケジュールで進めていくのかが見通せると関心も高まるし、参画もしやすくなると思います。"
- ・非常に教育効果は高いと思います。

5 義務教育学校の内容や小中一貫教育についての質問や理解できなかった内容があればご回答ください。

・ただの講演ではなく、教育関係者や教育委員会、保護者、住民等の参加者のディスカッション形式だと今後のイメージがしやすいと思います。

・今日の講演で、学校が日常で地域との交流会の場になっていることが素晴らしいことで、とても羨ましく思いました。

・やはり、地域コミュニティも視野に入れて、建物ありきで、前回も今回もメリットを感じたので、そこからスタートしてほしい。

・質のいい教育

・人との出会い

・選択できる自由

・家庭環境

・子どもの生活習慣の改善

・学校の取り組みや町の取り組みに関する保護者の理解"

・教育は学力向上だけではありません。早来学園のように、人口増加も見込めます。これまで洞爺湖町が行ってきた移住定住対策に教育という視点を加えて行くべきだと思います。

10～20年先の未来を考えて、見通し(目標やスケジュールなど)を立てて、教育委員会や学校、住民が共通認識のもとで、子どもたちを一体となって育てていけたらいいなと思います。

・子どもたちに教育の場として人員を増やすこと

・小中一貫を目指すのなら、9年間を見通した目指す児童生徒像をはっきりさせること。そこから、各学年での到達目標を設定していくこと。これがないと、何を話しても内容にブレが生じると思う

・教育への関心、思いに地域差や世代間の差がある町かなと感じます。大人がもっと教育に関心を持つこと、町も教育に力を今注がなければ、町が終わるぐらいの気概が必要だと思います。教育に携わる皆様の頑張り頼るだけではなく、微力ながら協力していきたいと思っています。そのような協力してくれる人材の輪をつくっていくことや、斬新なアイデアを取り入れる柔軟性が必要だと思います。やはり洞爺湖という資源の活用は必須で、観光や働く場など含めて街づくりと教育、学校の存在は独立せずコラボしていると思います。縦割りではなく横断的にこの難局に対応していき、教育含めこの町に住んで誇りに思う、子供が育って良かったと感じる町になることを希望します。長文乱文申し訳ありません。"

・本日の講演会は前回にも増して参加者が少なかった。今日の公演でも感じることだが、町民に関心を持ってもらうことが必要と感じます。

・特にありません。